

日 時	令和6年7月18日(木) 10:00~10:30 第2回経営会議
出席者	平原副市長、伊地知副市長、大久保副市長、佐藤副市長、技監、政策経営局長、総務局長、財政局長、脱炭素・GREEN×EXPO推進局長、市民局長、中区長
欠席者	なし
議 題	横浜市都市計画マスタープラン(全体構想)の改定について【都市整備局】
議 事 要 旨	<p>【論点】 2025(令和7)年に目標年次を迎える「横浜市都市計画マスタープラン(全体構想)」について、以下の視点で改定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民、企業等と協働で都市づくりを進めていくツールとするため、誰もが手に取って読みたくなるデザインにするとともに、身近で分かりやすい5つのテーマで新たに構成する。 ・本市の重要施策である、脱炭素社会と子育てしたいまちの実現を、将来の都市像として打ち出す。 ・適切な規制緩和による投資の呼び込みと、公共空間の柔軟な利活用を、マスタープランの実現に向けた姿勢として打ち出す。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市マス(全体構想)の構成を変更し、市民生活や企業活動になじみのある5つのテーマ「経済」「暮らし」「にぎわい」「環境」「安全安心」とする。 ・改定都市マスの特徴は、以下の5点である。 <ol style="list-style-type: none"> 1 横浜が率先して脱炭素社会を実現する 2 各地域の魅力を高め、子育てしたいまちを実現する 3 身近で分かりやすい5つのテーマで構成 4 適切な規制緩和などにより、投資を積極的に呼び込む 5 公共空間の柔軟な利活用により、まちを使いこなす ・都市づくりの基本理念を「未来をひらく 次世代に誇れる都市づくり」とし、目標年次を2040年とする。 ・都市構造図には「郊外部の活性化拠点」として上瀬谷地区を明記。 ・実現に向けて、「1 多様な主体との連携」「2 デジタル技術の活用」「3 都市のデザイン」「4 土地利用制度の戦略的な活用」を明記。 ・10月に素案説明会・パブリックコメントを実施し、令和7年3月に都市計画審議会へ付議、同年6月に策定予定。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市づくりのテーマ「安全安心」について、地震防災戦略の見直し検討も同時に行っているため、整合を図ること。 ・地域別構想については、精査の上、今後議論していくこと。 <p>【結論】 <u>主な意見を踏まえつつ、局案について了承。</u></p>